

第 14 回縮小社会研究会の報告

45 名参加

時：2013 年 5 月 26 日、15 時-17 時、

所：京都大学農学部総合館 W106

今回は、記念大会でミニ講演をしていただいた二人に講演していただきました。

1. 「縮小社会にむけての科学技術」 尾崎雄三

科学技術は表裏一体のプラス・マイナス両面をもち、先進国の豊かさをもたらしたが、一方で化石燃料等資源の使用で地球環境に悪影響をもたらしている。縮小社会においても科学技術は不可欠であるが、考え方の変更が必要である。

2. 「縮小社会の研究と生活実践」 樋田劭

1973年に化石燃料依存社会に疑問を持ち、人や物が使い捨てにされない社会を目指して、使い捨て時代を考える会を設立した。その基盤として、農家と消費者を結ぶ安全農産供給センターを1975年に設立した。これらの実践活動からみた縮小社会研究会について述べる。

会員懇親会：17 時 30 分-19 時、 所：縮小社会研究会事務所（詳細は下記）、会費 1000 円、
25 名参加